

67 林業デジタル・イノベーション総合対策

【令和5年度予算概算決定額 562（－）百万円】
（令和4年度補正予算額 49,891百万円の内数）

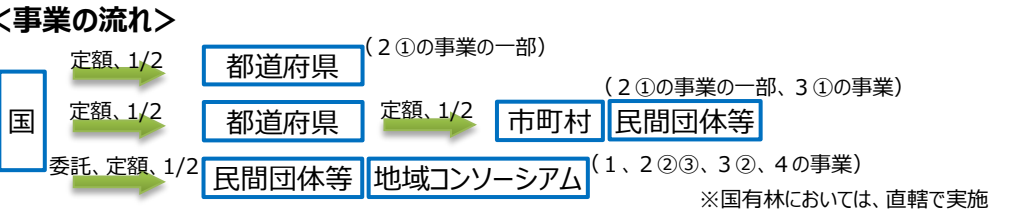
＜対策のポイント＞

林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材等の開発・実証、森林資源情報のデジタル化の推進、ICT等を活用した生産管理の効率化、地域一体となってデジタル技術をフル活用し収益性の高い林業を実践する「デジタル林業戦略拠点」の構築に取り組みます。

＜事業目標＞

- 自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（8件〔令和7年度まで〕）
- デジタル技術を地域全体でフル活用する取組が普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞	
1. 林業イノベーション推進対策	
① 林業イノベーションハブ構築事業	39（－）百万円
イノベーションの推進に向けた支援プラットフォーム構築等を実施します。	
② 戦略的技術開発・実証事業	70（－）百万円
林業機械の自動化、木質系新素材等の開発・実証を支援します。	
2. 森林資源デジタル化推進対策	
① 森林資源デジタル管理推進対策	205（－）百万円
レーザ計測等による森林資源情報のデジタル化等を支援します。	
② 森林情報オープン化推進対策	12（－）百万円
森林資源情報等のオープン化に向けた最善手法の検討を実施します。	
③ 林野火災発生リスク評価対策	4（－）百万円
林野火災発生危険度予測システムの構築と普及方策の検討を実施します。	
④ 国有林林業イノベーション技術構築事業	10（－）百万円
国有林の森林資源データの精度向上と高度な利活用を推進します。	
3. ICT技術活用促進対策	
① ICT技術活用促進事業	10（－）百万円
標準仕様に準拠したICT生産管理ソフトの導入等を支援します。	
② 木材生産高度技術者育成対策	92（－）百万円
ICT等先進技術を活用する技術者や現場技能者の育成等を実施します。	
4. デジタル林業戦略拠点構築推進事業	
地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する取組を支援します。	



＜事業イメージ＞

林業イノベーション推進対策

○林業イノベーションハブセンター（森ハブ）
異分野の技術探索、産学官の知見者による先進技術方策の検討、イノベーションエコシステム組成に向けたコーディネーター派遣等

○自動化機械、新素材等の開発・実証
セルロースリグニン等 工業用素材に利用
木の成分を活用した新素材の開発・実証

森林資源デジタル化推進対策

○デジタル林業の基盤を整備
航空機 ドローン搭載型
地上設置型
レーザ計測での資源情報の把握

ICT技術活用促進対策

○ICT等を活用した生産管理の効率化等
施業提案ソフト、日報管理ソフト、木材検収ソフトの導入等

デジタル林業戦略拠点構築推進事業

○「デジタル林業戦略拠点」の構築
森林調査、伐採・流通、再造林等へのデジタル活用、通信技術活用等

地域コンソーシアム（異分野人材の参画）
都道府県・市町村
大学・研究機関
人材育成のアドバイス
森林資源情報の提供
原木運送会社
出材コーディネーター
県森連等
林業サービス事業者
機械メーカー
アプリ等の開発事業の部分代行
経営・金融のアドバイス
金融機関
森林組合A 森林組合B 林業事業者 製材・合板工場

【お問い合わせ先】
（1、2③、3、4の事業）
（2①②の事業）
（2④の事業）
林野庁研究指導課（03-3501-5025）
計画課（03-6744-2339）
経営企画課（03-6744-2321）